

# MSIG *Quarterly Report*

三井住友海上グループホールディングス株式会社

広報部 〒104-8252 東京都中央区新川2-27-2 TEL:03-3297-6480(代表) <http://www.msig.com>

2009年10月16日

2009年度第2四半期(7~9月)の三井住友海上グループのトピックスをご案内します。

## 1. 当社グループの中核事業会社である三井住友海上社(単体)の営業概況

\*2009年7~9月、速報ベース、傷害・一般計には長期医療を含む

第2四半期は、引き続き景気低迷による影響が大きく貨物・船舶保険で大きく減収。他種目の貢献もあり8~9月は増収に転じたものの、一般計で前期比0.4%の減収となりました。

(金額単位：百万円)

種目名	第2四半期(7~9月)		年度累計(4~9月)	
	収入保険料	増収率(%)	収入保険料	増収率(%)
自動車	124,561	1.4	265,119	1.9
自賠責	32,562	1.5	63,098	0.2
火災	52,319	5.9	102,901	2.8
傷害	34,811	3.2	62,143	0.4
新種	38,061	5.3	90,641	2.3
貨物	12,607	28.4	25,759	29.0
船舶	7,081	11.0	18,539	2.0
一般計	302,002	0.4	628,200	1.7

## 2. 主なニュースリリース(2009年7~9月) カッコ内はニュースリリースの日付

### (1) 業務改善計画

#### 業務改善計画の実施状況について(7月21日)

三井住友海上社は、第20回の業務改善計画実施状況の報告を金融庁に提出しました。ガバナンス、保険金支払管理態勢の強化についてなどを報告しました。その他、契約者保護、契約者利便、法令等遵守態勢の強化について報告しました。

## (2) 経営統合

### あいおい損保、ニッセイ同和損保、三井住友海上グループの経営統合に関する合意について - 世界トップ水準の保険金融グループの実現に向けて - (9月30日)

あいおい損害保険株式会社(以下「あいおい損保」)、ニッセイ同和損害保険株式会社(以下「ニッセイ同和損保」)、三井住友海上グループホールディングス株式会社(以下「三井住友海上HD」)は、株主総会の承認と関係当局の認可等を前提として、あいおい損保、ニッセイ同和損保と三井住友海上HDとの間で株式交換契約、あいおい損保とニッセイ同和損保の間で合併契約を締結しました。統合新グループは持株会社方式とし、2010年4月1日に経営統合をします。持株会社の新社名は、MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社、あいおい損保とニッセイ同和損保の合併は、2010年10月1日とし、新社名をあいおいニッセイ同和損害保険株式会社とします。

## (3) 金融サービス、リスク関連事業

### 「フラット35事業」: 顧客面談専用ブース「フラットデスク」を開始(7月6日)

三井住友海上社は、2009年7月より「フラット35事業」(住宅金融支援機構買取型住宅ローン取次業務)の拡大に向けた新たな施策として、業界初となる顧客面談専用ブース「フラットデスク」を東京都内の3営業拠点(東京中央支店・新宿支店・渋谷支店)に開設しました。同社は、2003年10月より「フラット35事業」を展開し、取扱高・収益ともに順調に推移していますが、「フラットデスク」の設置により、顧客利便性の向上を図り、火災保険の獲得などのシナジー効果も含めた本事業の更なる拡大を推進しています。

### 全国の学校向け「新型インフルエンザ対策コンサルティング」を開始(8月17日)

三井住友海上社のグループ会社である株式会社インターリスク総研は、新型インフルエンザの大流行に備えるため、学校における感染予防策、緊急時対応、授業の継続に関するコンサルティングをパッケージ化し、サービスを開始しました。現在流行している新型インフルエンザの感染源の1つは学校であることなどから、厚生労働省が学校施設に対し、地域に合った対策を求めるなど、学校施設における対策の重要性が増しています。これまでの新型インフルエンザ対策コンサルティングの経験を元に、学校に特化したコンサルティングを提供していきます。

### 国内初、新型インフルエンザ対策支援パッケージサービスの提供を開始(8月17日)

三井住友海上社のグループ会社であるインターリスク総研は安全サポート株式会社、日本ユニシス・ラーニング株式会社と3社共同で、新型インフルエンザの大流行(パンデミック)時の企業の対策を支援するパッケージサービスを開発し、提供を開始しました。本パッケージは、新型インフルエンザにおける「企業の対策体制の構築」と「従業員に対する対策の重要性の周知・徹底」を1カ月という短期間で実現できる国内初のサービスです。

### 「新型インフルエンザ・パンデミック対策フォーラム2009」を大阪で開催(8月17日)

三井住友海上社と三井住友海上社のグループ会社であるインターリスク総研は、フジサンケイビジネスアイ、産経新聞社と共同で「新型インフルエンザ・パンデミック対策フォーラム2009」を9月10日に大阪で開催しました。本フォーラムでは、新型インフルエンザの発生を教訓として、広く企業の皆さまに新型インフルエンザの発生・拡大の現状や企業の対応策とその事例を紹介し、企業に求められる新型インフルエンザ対策について、感染予防と事業継続の観点から解説しました。また、同様のセミナーを10月8日に東京でも開催しました。

### 「これからの食の総合的危機管理対策セミナー」を開催（8月25日）

三井住友海上社、三井住友海上グループのインターリスク総研、株式会社イーエムエスジャパンは、「食品防御、トレーサビリティ、ISO22000の重要性」をテーマとしたセミナーを9月15日に開催しました。日本では近年、食品の偽装表示など不祥事件が後を絶たない状況であり、食への不安と不信が高まっています。こうした状況の中で、意図的に異物を混入させる食品汚染・食品テロに対する安全手法の仕組みや活用事例、食中毒・異物混入防止対策についての「ISO22000」認証取得事例を中心に、食の総合的危機管理について解説・提言を行いました。

### 第3回国内上場企業の新型インフルエンザ対策実態調査を実施（9月9日）

三井住友海上社のグループ会社である株式会社インターリスク総研は、国内全上場企業3,807社に対し、「新型インフルエンザ対策の実態調査」を実施し、回答状況をまとめました。調査結果では、2009年8月現在、新型インフルエンザ対策を実施している企業は63.1%となり、2009年2月に実施した同調査結果（30.0%）と比べ30%以上増加しました。また、「現在計画を策定中・策定予定あり」の企業を含めると90.6%となり、2009年2月時点から23.2%増加しました。

## **（4）環境・社会貢献活動**

### 第10回市民環境講座を開催（8月7日）

三井住友海上社は、駿河台ビル近隣の方や東京都の環境問題に関心のある方などを対象に、第10回市民環境講座を開催しました。今回は、東京湾の魚介類の生息状況に関する研究をされている国立環境研究所環境リスク研究センターの堀口敏宏さんから、東京湾の魚介類の変遷とともに現在の状況についてご講演いただきました。

### 中国・九州北部豪雨災害被災者への義援金について（8月26日）

当社は、被災者、被災地の支援を目的に、グループ各社の社員から義援金を募り、約300万円の義援金が集まりました。また、災害時義援金マッチングギフト制度により、社員からの義援金額に対し、同額を会社側が拠出することで、総額600万円規模を、山口県、福岡県等の義援金寄付窓口を通じて寄贈しました。

< 義援金の内訳 >

当社グループの社員の義援金	：	約300万円
災害時義援金マッチングギフト	：	約300万円
合計	：	約600万円

### 「CSRレポート2009」を発行（8月26日）

当社グループにおけるCSR（企業の社会的責任）の取組みを紹介する資料「CSRレポート2009」を発行しました。グループのCSR経営の考え方や具体的な取組みについて、グループ各社の活動を報告しています。今年度は各ページの冒頭に、実施施策とその実施状況、今後の課題・目標を明記しました。

### 社員の環境保護活動を金額換算 環境NPOへ160万円寄付（9月29日）

当社は、2008年7月よりグループの全社員を対象に「MSIGエコsmile」と称した環境啓発活動を実施しており、1年間の活動を金額換算した約160万円を12の環境関連のNPO団体へ寄付しました。社員の環境保護・社会貢献活動の啓発を目的とした本取組みに、1年間で延べ2万9105名の社員が参加しましたが、今後も、グループ全社員が一丸となって環境保全活動に取組み、環境問題に関する社員一人ひとりの意識向上、社内外での環境啓発活動を推進し、参加者の増加を目指します。

### 3 . スポーツ・トピックス

#### 女子柔道部

- ・「2009グランドスラム リオデジャネイロ大会」(7月4日～5日)  
ブラジル・リオデジャネイロで開催された「2009グランドスラム リオデジャネイロ大会」に日本代表として山岸絵美選手が出場し、準優勝しました。
- ・「世界柔道選手権大会」(8月27日～28日)  
オランダ・ロッテルダムで開催された「世界柔道選手権大会」に、2名の選手が日本代表として出場し、中村美里選手(52kg級)、上野順恵選手(63kg級)が初優勝、金メダルを獲得しました。
- ・「第39回全日本実業柔道個人選手権大会」(8月29日～30日)  
尼崎市記念公園総合体育館で開催された「第39回全日本実業柔道個人選手権大会」に3名の選手が出場し、高橋千尋選手(78kg級)が準優勝、阿部香菜選手(63kg級)が3位入賞しました。